

だっしゅ!!! 第2号

<第2号>

2012.03.16

発行：日高地方本部青年部

発行責任者：野阪 亮太

(えりも町職)

2012日高地本青年部春闘討論集会在開催されました

2月11日～12日、新ひだか町ウエリントンホテル及び公民館において2012日高地方本部青年部春闘討論集会在開催されました。今年はなんと、8単組総支部50人の参加ということで、3年ぶりに全単組総支部からの参加となりました。また、団結権回復の近づく消防職場より2人の参加がありました。集会是、吉田青年部長の挨拶から始まり、北海道労働金庫静内支店の今井支店長の来賓挨拶のあと、北海道本部賃金労働部長の櫛部さんの講演へと進んでいきました。以下では、そんな日高地本青年部春闘討論集会上についてふれていきたいと思いますが、よろしかったでしょうか？



▲今年もたくさんの仲間が参加しました

講演

『公務員制度改革について』

櫛部さんの講演では、公務員制度の現状や私たち地方公務員の賃金・労働条件の決定方法について説明したあと、「新しい自律的労使関係の特徴として、人事院勧告制度が廃止になり協約締結権が回復すると、今までのように人勤に頼った運動はできず、労働条件の維持に労働組合の力がより試される」と、改革後の組合運動の重要性について話されました。公務員制度改革が直前に迫る中、青年部としても『学習・交流・実践』の3つの柱を大事に、運動に取り組んで行かなければなりません。



▲公務員制度改革について語る櫛部さん

分散会

『課がまとまっていれば8割はうまくいく』

今年の分散会も昨年に引き続き、2日間の日程で行われました。初日の分散会では「1人暮らしをしていくには今の賃金では足りない」、「食費や光熱費等を削っている」といった賃金に関する悩みや、「超勤手当が9ヶ月間無支給」、「予算が無くなってしまい、支給されていない」、「課によって超勤のつけ方が違っていた」といった超過勤務に関する実態、「担当者が自分しかいない係だと休みづらい」、「上司とうまくいっていないから超勤伺いを出しづらい」といった職場環境の問題点が数多く出されました。



▲初日の分散会の様子

2日目の分散会では初日に討論した内容をさらに掘り下げ、解決策を見つけていくため話し合いました。2日間の分散会を通して、要求の根拠作りとしてアンケートや手帳付けなどを行い、青年が主体となって声を上げて行くことが大事だということを再確認しました。また、職場環境に関して、「課が仲良くまとまれば、8割ぐらいはうまくいっている」という言葉がありました。今は上司にも恵まれているから問題はないという人もいるかもしれませんが、周りにはそうでない人もいます。仲間と話し合うことは、情報共有や不満のはけ口としても重要な場であることを実感できました。



▲2日目の分散会の様子

交流会『ちょっと狭かった(汗)』

今年の交流会は、ギュウギュウ詰めの中、新ひだか町にあるお店「串や」で行われました。吉田部長の乾杯からスタートした交流会は、分散会では話せなかったことや、何気ない世間話などで盛り上がり、参加者同士の交流を深めることができました。そして、各単組総支部の紹介の後、一村一品を賭けた「分散会対抗！30秒自己紹介ゲーム」が行われ、大いに盛り上がりました。



▲吉田部長の乾杯で幕を開けた交流会

▼一村一品を賭けたゲームで盛り上がった交流会（その一部をお見せします）▼



参加者からの感想

今年の参加者の中から出た感想を紹介します。



高元慎吾さん
日高町職（日高西部消防組合）
好きなタイプ：すっぴん美人
趣味：救急
『毎回「気づき」が生まれて勉強になります！』



高橋昌嗣さん
新冠町職
好きなタイプ：肉付きがいい子
趣味：オカリナ
『やる気のある若い子が多く力を感じました！』

佐藤由香利さん
全道庁日高総支部
好きなタイプ：優しい人
趣味：音楽鑑賞



『町職員の方々とあまり交流する機会がないので、町の方々の職場の状況などを聞いてよかったです！』



「編集後記」

今回、教宣紙を担当させてもらったえりも町の野阪です。今年の幹事で最年少ということで、まだまだ知識・経験不足ですが、一所懸命頑張っていきたいと思います。さて、待望の第2号はいかがだったでしょうか？少しでも集会の雰囲気伝わると幸いです。次回の「だっしゅ！！」もどうぞご期待！